

「人権のひろば」に対するご意見、ご感想は戦略企画室 広報広聴グループ または、人権室までお寄せください。

支え合う年金から人権を考える

もし、年金がなければ、私たちの生活はどうなるでしょうか？

きっと多くの人が、貯蓄が「どれだけ」「いつまで」必要なのか、働けなくなり収入が途絶えたら生活して行けるのかといったさまざまな不安を抱くのではないでしょう。そこで今回は、私たちが安心して生活できるように、社会全体で支える仕組みである年金から人権について少し考えてみたいと思います。

年金は、憲法が保障する生存権を具体化した重要なものであり、主に下表のとおり3種類の給付があります。以前は、同居・近居の家族が親などの高齢者の生活を支える形が一般的でしたが、年金制度が整備され、現在では働く世代が納めた保険料で高齢者を支える

<年金の種類>

老齢年金	老後の生活を支えるため、支払った保険料の額に応じた一定水準の給付を、年6回決まったタイミングで受給
障害年金	万が一の病気やけがで重度の障害を負ったときに受給
遺族年金	一家の働き手が亡くなったときに遺族が受給

※年金の未納や未加入があると受給できない場合があるので、注意が必要です

形へと変わってきています。

高齢者を支える形の具体的な例を見てみましょう。

長年仕事を頑張りがら、保険料を支払ってきたおじいさん。仕事を引退した今、孫と過ごす時間

が何よりも楽しみです。12月に振り込まれていた年金で孫にクリスマスプレゼントを買ってあげました。かわいい孫にプレゼントを買ってうれしそうなおじいさんと、プレゼントをもらって喜ぶ孫。そして、その孫も20歳になれば年金加入し、やがて年金受給者となり、その子・孫世代の保険料から年金が支給されるのです。

このように、次の世代へと循環することで、世代間の支え合いが続いていきます。

誰もが安心して暮らすことにはすべての人が生まれながらに持っている権利です。自分を含めたすべての人が人間らしく生き、将来にわたり安心して生活するために、世代と世代でつながり、お互いの思いやりで支えあう年金を人権について考えるきっかけにしてみませんか。

生活安全 だより シリーズ 202

お試しのつもりが定期購入に!!
初回数百円の表示にご注意

相談概要

広告で500円と表示されていた化粧品をお試し価格だと思い注文。精算を済ませこれで終わりと思っていたが1か月後にまた同じ商品が届き、今度は6千円の請求になっている。

アドバイス

ここ最近、初回価格が数百円という広告を見て、化粧品や健康食品を注文し、後で2回目以降の価格が高くなる定期購入だと知ったという相談が増えています。

1回目の価格を安くしているのは、同じ商品を数回、定期的に購入することを条件としています。初回の価格だけではなく、契約条件などもよく確認してから決めましょう。

定期購入の契約条件によっては、2回目以降の解約ができなかったり、できたとしても初回価格の商品や受け取り済みの商品を定価精算しなければならぬケースが多くあります。安く買えると思っていたのに違った、結局は高くついたと後悔することになりますので、申し込み前に慎重に判断しましょう。

分からないことがあれば消費生活センターにお問い合わせください。
消費生活センター ☎ 070・0492
(水・土・日曜日、祝日を除く)

